

# 東日本大震災への札幌協の対応について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に見舞われ、亡くなられた方々にご冥福をお祈りいたしますとともに甚大な被害を受けられ被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
東日本大震災への札幌協の対応について、報告します。

## 義援金の札幌市への寄付

平成23年6月3日(金)、東日本大震災の被災者支援活動に助成をしている札幌市の「さぼーとほっと基金」に、札幌協各支部（6支部 200社）、組合員 和田設備建設工業(株)、賛助会員(株)イチキ「イチキ会」及び組合事務局職員一同からの義援金、総額2,016,520円の寄付を行いました。



▲平成23年6月7日 上田市長より感謝状を受領

写真左より 札幌協 副理事長 佐藤 安幸  
 // 副理事長 山中 純一郎  
 札幌市長 上田 文雄 氏  
 札幌協 理事長 花松 真一  
 // 副理事長 若杉 明信

### 札幌協に感謝状 市が震災義援金寄付で

上田市長は7日、「さぼーとほっと基金」(市民まちづくり活動促進基金)の「被災者を支援する市民まちづくり活動」に200万円を寄付した札幌市管工事業協同組合へ感謝状を贈った。同協組は、東日本震災で市内に避難してきた被災者を支援しようと、加盟企業200社から義援金200万円を集め、5月31日に寄付した。

市役所本庁舎を訪れた花松真一理事長は、「震災後、3次にわたる応急復旧隊を派遣したが、資金的にもサポートできればと思い義援金を集めた。今後も継続して取り組みたい」と述べた上で、札幌での激甚災害発生に備え「日常的に心構えを整えている」と即応体制を整えていることを伝えた。

上田市長は「震災の支援活動を頑張っている市民団体やNPO法人をサポートするお金として使わせていただく」と感謝し、「市内の水道管の耐震化でも今後お世話になる。よろしくお願した」と要請した。

さぼーとほっと基金は、市民や企業の寄付で町内会やボランティア団体、NPOなどが取り組むまちづくり活動を応援するもの。震災後は4件、約250万円が集まった。

上田市長から感謝状を受ける花松理事長(右)

▲平成23年6月8日付  
北海道建設新聞